

高知新聞

須崎工業高等学校

ドラゴンカヌー熱戦 須崎工高 校内大会

【須崎】須崎工業高
校(須崎市多ノ郷甲)の恒例行事、ドラゴン
カヌー校内大会が15



日、同市の浦ノ内湾で開かれた。全校生徒約300人と教員が14チームに分かれ、息を合わせて熱戦を繰り広げた写真。

須崎市のドラゴンカヌー大会は、1999年に同校造船科の教員と生徒が製作した船を市に寄贈したのがきっかけで始まった。校内大会は2002年から開かれている。同市浦ノ内東分の市立スポーツセンターカヌー場を会場に、浦ノ内湾内に設けた200mの直線で速さを競った。

全長約200mのドラゴンカヌーに乗り込んだ生徒たちは掛け声を合わせてパドルを操り、水しぶきを飛ばしながらゴールを目指した。優勝した機械科3年生チームの長山直樹君(17)は「1年の時から優勝したかったのでうれしい。最後までやり切ったのが勝ちにつながった」と笑顔だった。29日には市内外の高校が競う「ドラゴン甲子園」、8月2日には県内外の約50チームが参加する市ドラゴンカヌー大会が開かれる。

(山本 仁)



クラスで一致団結

海面走るドラゴンカヌー